

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月09日

計画の名称	守山市における下水の地震対策とポンプ施設の延命化対策および浸水対策の推進（その2）（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	守山市												
計画の目標	耐震化することで、安全・安心、快適な暮らしを継続し、延命化することで適正な維持管理の継続を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	40	A	40	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H31末	H32末
1	（汚水）総合地震対策計画に基づきマンホールトイレの普及率を37%（H30）から68%（H32）に増加。 マンホールトイレ普及率（%） 対策実施済施設数 / 対策を実施すべき計画施設数（16施設）	37%	50%	68%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
計画の成果目標：マンホールトイレ普及率については、整備計画名「守山市における下水の地震対策とポンプ施設の延命化対策および浸水対策の推進（その2）（防災・安全）」との合算値である。														

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	守山市	直接	-	管渠(汚水)	新設	守山市公共下水道総合地震対策実施	マンホールトイレ設置	守山市						40		策定済
		総合地震																	
											小計						40		
											合計						40		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
守山市社会資本整備総合交付金評価委員会において、当計画の事業実施状況、指標の達成状況の報告・確認を実施。	令和5年3月9日
	公表の方法 守山市ホームページにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	マンホールトイレの設置率が上昇し、耐震化を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も耐震化を進めていき、公共用水域の水質が向上、快適な暮らしの実現、良好で住みやすい環境を整備できるよう施設整備を継続的に行います。	

